

平成 30 年度
社会福祉法人 北摂杉の子会
『権利擁護・虐待防止計画』
平成 29 年度評価から

社会福祉法人 北摂杉の子会
権利擁護虐待防止委員会

作成年月日：平成 30 年 3 月 21 日	部署名：萩の杜	虐待防止責任者：山根和史 (29 年度) 竹内 恒 (30 年度)
------------------------	---------	--------------------------------------

平成 29 年度評価 (振り返り)

	<p>■平成 29 年度虐待防止目標・計画</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修の実施 ・業務の振り返りチェックシートの実施 ・表出コミュニケーションを支援するため“PECS”の手法を取り入れる
評価 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に講師 中山清司 SV を招いて“権利擁護研修”を実施した。 課題：研修については非常勤職員も含め全職員の参加が困難な為、今後 e ラーニングの活用しての研修を主としていく。 ・8月に“業務の振り返りチェックシート”を実施した。 課題：振り返り後の個々の気付きをより深める為、フィードバック等の工夫が今後必要である。 ・PECS の研修に支援員 3 名を派遣し、事業所内においてワークショップを 4 回開催した。 課題：現場支援への反映等、更なる発展が必要である。

平成 30 年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・e ラーニングを活用して権利擁護意識を高める ・業務の振り返りチェックシートの実施 ・表出コミュニケーションを支援するため“PECS”の手法を取り入れる

平成 30 年度実施計画

月	平成 30 年度実施内容	備 考
4 月	※e ラーニングの活用(通年) ※SV を活用して P E C S の実践を深める(通年)	
5 月		
6 月		
7 月		
8 月	“業務の振り返りチェックシート”の実施	
9 月	“業務の振り返りチェックシート”のフィードバック	
10 月		
11 月		
12 月	萩の杜 内部実践報告会の実施	SS も含めた各ユニットから 1 事例
1 月		
2 月		
3 月		

権利擁護・虐待防止（平成 29 年度評価 及び 平成 30 年度事業計画）

作成年月日：平成 30 年 3 月 23 日	部署名：ジョブサイトひむろ	虐待防止責任者：森田 耕平
------------------------	---------------	---------------

平成 29 年度評価（振り返り）

	<p>■平成 29 年度虐待防止目標・計画</p> <p>【目標】「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の表出コミュニケーション支援に着手する ・クレドに基づき、業務の振り返りシートの改定を行い、年 2 回実施する ・グレーゾーン、ひやりはっとの事例を検証し、事業所内で共有する ・権利擁護、虐待防止に係る内部研修を年 2 回実施する ・日常の支援についての疑問や質問に関する相談窓口を設置し、事業所全体で共有する ・実習生、ボランティア、見学者を積極的に受け入れる
評価 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・PECS レベル 1 ワークショップを 6 名の常勤職員が受講し、一部のご利用者に対してのセッションに着手した。また、祝日、土曜開所日に「セレクト給食」を実施し、選択の機会を設けた。 ・振り返りチェックシートの改定を行い実施した。 ・大阪府の「平成 29 年度障がい者虐待防止・権利擁護研修」の伝達研修を内部研修として実施した。 ・クレドの浸透が不十分なため、次年度への積み残しとして e-ラーニング等のツールを活用し、取り組んでいきたい。

平成 30 年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の意思決定、表出コミュニケーション支援を推進する ・e-ラーニングを活用し、クレドの浸透を図る。 ・振り返りチェックシートを年 2 回実施する。 ・実習生、ボランティア、見学者を積極的に受け入れる

平成 30 年度実施計画

月	平成 30 年度実施内容	備 考
4 月	平成 30 年度事業計画策定 e-ラーニング開始	第 1 回権利擁護虐待防止委員会
5 月		
6 月	PECS レベル 1 ワークショップ	第 2 回権利擁護虐待防止委員会
7 月	振り返りチェックシート実施	
8 月	振り返りチェックシート集約、フィードバック	第 3 回権利擁護虐待防止委員会
9 月	e-ラーニング検証	
10 月	上期振り返り、下期に向けての修正、見直し	第 4 回権利擁護虐待防止委員会
11 月		
12 月	振り返りチェックシート実施	第 5 回権利擁護虐待防止委員会 障害者週間
1 月	振り返りチェックシート集約、フィードバック	
2 月	下期振り返り、年間振り返り	第 6 回権利擁護虐待防止委員会
3 月	次年度目標、計画の検討	

作成年月日：平成 30 年 3 月 14 日	部署名：グループホームみやた	虐待防止責任者：原田 智弘
------------------------	----------------	---------------

平成 29 年度評価（振り返り）

	<p>■平成 29 年度虐待防止目標・計画</p> <p>【ビジョン】・『人権を守る砦となる』</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指す <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規の職員が入職されたこともあり、会議の中で「虐待」について改めて学び合う ・権利擁護委員を軸にご利用者への対応について深め合う。 ・コミュニケーションを活発にし、グレーゾーンやより良い支援についての意見交換を増進する。
評価 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の中で「虐待」についての学びやクレドについての意見交換を行なった。 ・権利擁護委員を軸に住環境の清掃や寝具、衣類等の買い替え、補充等を行なった。 ・より良い支援については開始した段階で、成果までは到達できていない。 ・クレドを軸に次年度もより良い支援からの虐待防止を目指す。

平成 30 年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い支援への意識向上と実践、環境整備を進める。 ・移転後のご利用者の早期安定と支援の質の担保を行なう。
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「より良い支援」について、クレドもふまえて学習を進める。 ・支援の実践を SV 等で定期的に振り返り、より良くしていく。 ・人権についての内部研修を実施する。 ・移転前に再度生活図等の更新を行ない、移転後も生活の質が落ちないように計画する。 ・移転後ひと月程度は毎週、その後は実態にあわせて意見交換を行ない、支援内容の変更等を適宜行なっていく。

平成 30 年度実施計画

月	平成 30 年度実施内容	備考
4 月	「より良い支援」内部研修 定期 SV 開始	
7 月	振り返りチェックシート配布 生活図等更新	
8 月	チェックシート集計 個別移転計画作成	
9 月	個別移転計画の進捗確認と修正開始	
12 月	人権研修	
3 月	平成 30 年度の取り組み振り返り	

作成年月日：平成 30 年 3 月 19 日	部署名：レジデンスなさはら	虐待防止責任者：伊名岡宏
------------------------	---------------	--------------

平成 29 年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>目標：「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指す</p> <p>計画内容：①クレドの浸透を行う</p> <p>②計画内容：権利擁護強化週間を実施する</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご利用者の生活の質」について クレドの浸透を行うことで、意識が向上してきている。特に 4S の環境整備については、倉庫整理に取りかかっている段階である。 ・「支援の質」 5 月にアセスメント研修（評価キット）を受講し、3 名が評価キットを使えるようになった。その段階で、支援の質向上とは言えないが、向上のための下地が増えてきており、合理的配慮のある支援や環境の作り方につながることを期待できる。 <p>【計画の振り返り】</p> <p>① クレドの浸透化を行う クレドを振り返りチェックシートに入れ込み、浸透化をはかる。1 回目のチェックシートより、2 回目のチェックシートの方が「理解しているが実践が不十分」との振り返りが多く、謙虚に浸透してきているように思う。</p> <p>②権利擁護強化週間を実施する 実施できておらず。理由は、サビ管の周知不足によるコンセンサス不足。</p>

平成 30 年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きクレドの浸透化を行う ・基本的価値観を作成し、浸透を行う。 ・評価キットを取れる職員を増やし、合理的配慮のある支援を推し進める。 ・意思決定支援システムを活用し、個別支援計画に意思を明確に入れ込んで行く ・意思表出支援の研修受ける。候補は PECS 研修。

平成 30 年度実施計画

月	平成 30 年度実施内容	備考
4 月	評価キットを使える職員を 1 名育成	
5 月	基本的価値観完成（6 月の振り返りチェックシートに導入する）	
6 月	振り返りチェックシート、グレーゾーンアンケート、いいね集を実施 PECS 研修受講予定（2 名）	
7 月	意思決定支援システムを活用した個別支援計画作成開始	
10 月	意思決定支援システムを活用した個別支援計画実施開始	
1 月	振り返りチェックシート、グレーゾーンアンケート、いいね集を実施	

作成年月日：平成30年 3月 22日	部署名：ふれいす Be	虐待防止責任者：竹内 恒 (29年度) 奥平健正 (30年度)
--------------------	-------------	------------------------------------

平成29年度評価（振り返り）

	<p>■平成29年度虐待防止目標・計画</p> <p>【ビジョン】・『人権を守る砦となる』</p> <p>【目標】・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して</p> <p>【計画】・業務の振り返りチェックシートの実施（年2回）</p> <p>・表出コミュニケーションに関する内部研修の実施</p>
評価 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の振り返りチェックシートは7月と3月の年2回実施したクレドに対する振り返りも併せて行う。 ・実施に伴い、内部研修を行ないクレドについての理解を深めた。 ・法人スーパーバイザーの中山清司氏に表出コミュニケーションの研修を行なっていただく。 ・ご利用者の実際の支援には十分に繋がられていない。 ・ご利用者のケースを通して、意思決定支援についての研修を行なった。

平成30年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・ご利用者の意思決定への支援とクレドの浸透
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りチェックシートの実施（7月・3月） ・個別支援計画の改訂（ご本人の意思決定の項目の変更をする）

平成30年度実施計画

月	平成30年度実施内容	備考
4月		
5月		
6月		
7月	振り返りチェックシート	クレドの振り返りも含む
8月	個別支援計画改訂についての検討	
9月	個別支援計画の改訂の実施	
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月	振り返りチェックシートの実施（2回目）	クレドの振り返りも含む 内部研修での相互確認

作成年月日：平成 30 年 3 月 24 日	部署名：ジョブサイトよど ジェイ・ブランチよど	虐待防止責任者：田端たまみ 水口真奈
------------------------	----------------------------	-----------------------

平成 29 年度評価（振り返り）

	<p>■平成 29 年度虐待防止目標・計画</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表出コミュニケーション支援の研修を進めて行く。 ・リスクマネジメント委員会の更なる充実を図る。 ・法人のクレドに基づく業務の振り返りを実施する。
評価 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ PECS の基礎研修に 2 人が参加した。事業所内で振り返り研修を行い全体共有をした。事業所内で一部のご利用者には PECS を取り入れた。 ・ 個別支援計画をご利用者の意思を反映させるフォームに変更し、ご利用者に合わせて意思の聞き取りを行ったものを記述した。 ・ 日中活動の中で活動をご利用者が選択できるようカードなどを用いて聞き取りを行った。 ・ リスクマネジメント委員会でひやりはっとや事故報告の全体共有は共有フォルダーの回覧にて報告したが検討事項に関しては検討まで至らなかった。 ・ 7 月と 3 月に業務の振り返りをチェックシートを用いて行った。個別に上長よりコメントを記入して職員に返した。

平成 30 年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「ご利用者の生活の質」の「職員の支援の質」の向上を目指す。
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ PECS の研修などに参加し、ご利用者の意思表出や自己決定の支援に力を入れる。 ・ クレドに基づく業務の振り返りを行う。 ・ 職員の面談を 3 か月に 1 回実施、職員の支援における悩みなどを把握しともに考える。上長に報告し共有する。 ・ 実施頻度など具体的には決まっていないが、門先生による PECS やその他の現場の SV を頂く予定になっている。

平成 30 年度実施計画

月	平成 30 年度実施内容	備 考
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度 3 月に実施したクレドの振り返りのフィードバックを行う。 ・ひやりはっとをよどとブランチで 100 件目標に出す。 ・よど・ブランチ運営会議にてひやりはっとと事故報告の課題を検討する。 ・職員の面談を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職が正職員と事務職、GL が 嘱託職員とパート職員
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっとをよどと、ブランチで 100 件目標に出す。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・よど・ランチ運営会議にてひやりはっとと事故報告の課題を検討する。 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・PECSの基礎研修に2名参加する。 ・ひやりはっとをよどと、ランチで100件目標に出す。 ・よど・ランチ運営会議にてひやりはっとと事故報告の課題を検討する。 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっとをよどと、ランチで100件目標に出す。 ・よど・ランチ運営会議にてひやりはっとと事故報告の課題を検討する。 ・職員の面談を行う。 ・法人のクレドに基づく業務の振り返りを行う。 ・PECSの振り返り研修を行う。 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっとをよどと、ランチで100件目標に出す。 ・よど・ランチ運営会議にてひやりはっとと事故報告の課題を検討する 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっとをよどと、ランチで100件目標に出す。 ・よど・ランチ運営会議にてひやりはっとと事故報告の課題を検討する。 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっとをよどと、ランチで100件目標に出す。 ・よど・ランチ運営会議にてひやりはっとと事故報告の課題を検討する。 ・職員の面談を行う。 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっとをよどと、ランチで100件目標に出す。 ・よど・ランチ運営会議にてひやりはっとと事故報告の課題を検討する。 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっとをよどと、ランチで100件目標に出す。 ・よど・ランチ運営会議にてひやりはっとと事故報告の課題を検討する。 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっとをよどと、ランチで100件目標に出す。 ・よど・ランチ運営会議にてひやりはっとと事故報告の課題を検討する。 ・職員の面談を行う。 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっとをよどと、ランチで100件目標に出す。 ・よど・ランチ運営会議にてひやりはっとと事故報告の課題を検討する。 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっとをよどと、ランチで100件目標に出す。 ・よど・ランチ運営会議にてひやりはっとと事故報告の課題を検討する。 	

作成年月日：平成30年3月23日	部署名：ジョブジョイントおおさか	虐待防止責任者：星明聡志
------------------	------------------	--------------

平成29年度評価（振り返り）

	<p>■平成28年度虐待防止目標・計画</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の振り返りチェックシートの実施 ・内部研修で過去の虐待事例、合理的配慮等について実施する ・JJ おおさか独自の行動指針をスタッフ間で議論し、来年度以降の策定に向けて準備をしていく
評価 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の振り返りチェックシートは年に2回実施。 ・内部研修では、権利擁護や虐待防止、合理的配慮について検討することができず、次年度の実施を目指したい。 ・行動指針策定に向けて、内部研修を3回実施。本委員会のクレドに加えるスタイルで行動指針を確定し、全スタッフの浸透を目指していきたい。

平成30年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・利用者ニーズを事業所全体で大切できる組織風土づくり
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズを事業所全体で大切できるよう定期面談の陪席の充実 ・利用者アンケートの実施（年1～2回） ・業務の振り返りチェックシートの実施 ・内部研修で過去の虐待事例、合理的配慮等について実施する ・JJ おおさか独自の行動指針の策定と全スタッフへの浸透を目指す

平成30年度実施計画

月	平成30年度実施内容	備考
4月		
5月	業務の振り返りチェックシートの使用と共有	
6月		
7月	内部研修（過去の虐待事例から学ぶ）	
8月		
9月	内部研修（障害特性の理解）	中山SVより
10月		
11月	内部研修（合理的配慮について学ぶ）	
12月		
1月		
2月	業務の振り返りチェックシートの使用と共有	
3月		

作成年月日：平成 30 年 3 月 23 日	部署名： LaLa－chocolat TAKATSUKI	虐待防止責任者： 木戸 貴之
------------------------	---------------------------------	-------------------

平成 29 年度評価（振り返り）

	<p>■平成 29 年度虐待防止目標・計画</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半年に 1 回、業務の振り返りチェックを行なう。 ・ご利用者の意思決定を尊重し、個別支援に反映させることで、教育・訓練を受ける機会を創出し、努力すればニーズが実現する仕組みを確立させる。 ・内部研修を開催し、合理的配慮や意思決定支援等を学んでいく。
評価 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度 7 月に LaLa－chocolat TAKATSUKI スタッフ全員を対象に業務の振り返りチェックを行なった。ただ 2 回目の振り返りチェックの実施は、繁忙期と重なってしまい、実施することが出来なかった。来年度は計画的に 2 回の実施を目指していく。 ・毎月 2 回、ご利用者の面談等を通して、ニーズの把握に努めた。また、毎月の LaLa 会議やステップ会議で、ご利用者個々の意思決定や個別支援の確認を密に行なった。 ・今年度の内部研修は、店舗運営に特化した内部研修を開催したため、合理的配慮や意思決定支援をテーマにした内部研修の開催は出来なかった。

平成 30 年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・ご利用者の地域での豊かな暮らしの実現を目指す
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・e ラーニングのコンテンツを活用して、人権意識の向上を目指す。 ・半年に 1 回、振り返りチェックシートを行なう（5 月・11 月）。 ・ご利用者の意思表出や意思決定が可能となる支援を目指すため、法人内外の研修会等を積極的に活用する。

平成 30 年度実施計画

月	平成 30 年度実施内容	備 考
5 月	業務の振り返りチェックシートの実施	
6 月	振り返りチェックシート集計の報告	
7 月		
8 月	e ラーニングを活用した内部研修の実施	視聴後にグループワークを行なう
9 月		
10 月		
11 月	業務の振り返りチェックシートの実施	
12 月	振り返りチェックシート集計の報告	
1～3 月	店舗繁忙期のため、実施せず	

作成年月日：平成 30 年 3 月 19 日	部署名：児童発達支援部	虐待防止責任者：谷岡とし子
------------------------	-------------	---------------

平成 29 年度評価（振り返り）

	<p>■平成 29 年度虐待防止目標・計画</p> <p>【ビジョン】・『人権を守る砦となる』</p> <p>【目標】「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指す</p> <p>【計画】</p> <p>1 利用者参加の PASSO 個別支援会議をモデルに、様々な視点で評価・共有する</p> <p>2 法人や管理職を中心に部内の委員会を設置する</p> <p>3 部内の委員会を中心にマニュアル等の見直しや意識向上を図る為の取組みを検討する</p> <p>4 職員行動チェックリストの定期配布・記入を実施し、各職員と定期面談の中で振り返る</p> <p>5 子ども、家庭チェックリストを活用し、虐待が疑われるケースの行政への連絡、相談、報告の流れや役割の明確化</p>
評価 成果 課題	<p>1 療育については、療育中の振り返りや自己理解支援の中でご本人の気持ち等の聞き取りを行った。来年度は、ご本人一人ひとりに合わせた聞き取り力の向上を目指し、支援目標にそってご利用者からモニタリングが実施できるよう取り組んでいく。wish については、ご本人の希望等、面談で聞き取りをし、サービス等計画に反映することや、会議にも参加して頂いたケースあり。一部のご利用者のみなので、今後は、意思決定支援に基づき、ご本人の意思確認を行いながら、ご家族、関係機関と共有しながら計画を進めていきたいと考えている。PASSO は引き続き、利用者参加型の個別支援計画面談（3 者）を実施しよりよい参加の仕方や目標の自己決定について検討していく。</p> <p>2 委員会設置としての位置づけまで整理が十分実施できなかった。</p> <p>3 地区会議にて、ひやりはっと/事故について確認をし、リスクマネジャーを中心に部内のマニュアル等の整理と確認を実施した。</p> <p>4 クレド、職員行動チェックリストの振り返りを年 2 回実施予定だったが、後期の実施が遅れてしまった。クレド、職員行動チェックリストの結果は、部全体に周知報告し、各事業所にて児発管を中心に職員への振り返りを行った。引き続き、呼称問題については、意識の違いもあり、職員全体で適宜、意見交換しながら人権を尊重して意識してもらえよう取り組んでいく。</p> <p>5 虐待ケースまたは気になるケースについては、療育の際にチェックリストに沿って確認を行い、情報共有を図った。通告の手順等は、マニュアルを作成し周知を図った。虐待通告したケース 4 件（Link3 件、PASSO1 件）</p>

平成 30 年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「権利擁護虐待防止委員会」の活動計画に基づき、実施していく
計画 内容	<p>1.月 1 回実施の地区会議に、虐待防止委員会及びリスクマネジメント委員会を設置。地区の主任をリスクマネジャーとして任務。</p> <p>2.ご本人のコミュニケーションの表出を高められるようサービスの質の向上を目指す。PECS 受講者部内より 2 名参加。コミュニケーションの評価ができるようサンプリングを全職員取れるようになる。</p> <p>3. 呼称問題や人権についての意識向上に向けて、e ラーニングを活用し理解が深められるように</p>

	<p>取り組む。</p> <p>4. 定期的に職員に対してのSV面談を実施し、相談できる体制を構築する。</p>
--	--

平成30年度実施計画

月	平成30年度実施内容	備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職員に対してクレドや人権についてのオリエンテーションを実施 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルチェックリストを実施。個人研修計画の作成。 ・内部研修にて、メンタルヘルスや自己覚知の研修を実施。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレド、職員行動チェックリストを実施。 ・コミュニケーションサンプルを取り、評価目標の設定と各事業所にてOJTを行う。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所にて、チェックリストの振り返りを行う。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・PECSの伝達研修を内部研修にて実施 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期モニタリングに向けて、ご本人の聞き取りシートを作成する。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・療育の前期モニタリングの前に、ご本人と目標の振り返りを実施。後期のIEPに活かす。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションサンプルを取り、評価目標の設定と各事業所にてOJTを行う。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレド、職員行動チェックリストを実施。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所にてチェックリストの振り返りを行う。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護・虐待防止の計画の振り返り及び次年度に向けての計画の検討を図る。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の事業計画を作成する。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	

作成年月日：平成 30 年 3 月 19 日	部署名：アクトおおさか	虐待防止責任者：山根和史
------------------------	-------------	--------------

平成 29 年度評価（振り返り）

	<p>■平成 29 年度虐待防止目標・計画</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して、地域における障害者虐待防止及び障害を理由とする差別の解消に向け、理解の促進と啓発を行うと共に、関係機関との連携を図り権利擁護に努める。 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人倫理綱領に基づき、虐待防止に対する支援姿勢を周知徹底する。 ・定期的なケース検討会議を行い、合理的配慮の不提供とならないよう障がい特性や 2 次障がいの理解を深め、ご本人のニーズに基づく支援を行う。 ・スタッフ間の情報共有、意見交換を図り、相互に相談し合える環境作りを行い、スタッフのストレスマネジメントにも留意する。 ・相談ケースにおいて虐待案件が確認された場合を想定し、報告・相談・記録等のあり方を周知すると共に通報義務を果たす。
評価 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 回／週のケース検討会議を実施することで、所内全体でケースの動向や関係機関との関わりについて把握し、ご利用者への適切な支援が行えているか等、共有できた。ご本人の権利侵害の恐れのある案件については事実確認を行った上、市町村と連携し解決に向けて介入できたケースも見られている。 ・業務の振り返りチェックシートの使用と共有については、アクトおおさかの業務における振り返りシートを作成し、7 月にクレド項目と共に実施。2 月に再度振り返りを行っている。

平成 30 年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して、地域における障害者虐待防止及び障害を理由とする差別の解消に向け、理解の促進と啓発を行うと共に、関係機関との連携を図り権利擁護に努める。
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なケース検討会議を行い、合理的配慮の不提供とならないよう障がい特性や 2 次障がいの理解を深め、ご本人のニーズに基づく支援を行う。 ・スタッフ間の情報共有、意見交換を図り、相互に相談し合える環境作りを行い、スタッフのストレスマネジメントにも留意する。 ・相談ケースにおいて虐待案件が確認された場合を想定し、報告・相談・記録等のあり方を周知すると共に通報義務を果たす。

平成 30 年度実施計画

月	平成 30 年度実施内容	備考
4 月 (年間通して)	<ul style="list-style-type: none"> * 1 回／週 ケース検討会議を実施 * 各種事業や個別ケースを通して、地域事情を把握 	
5 月		
6 月		

7月	業務の振り返りチェックシートの使用と共有	
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月	業務の振り返りチェックシートの使用と共有	※7月に実施したチェックシートの内容を各自見直し
3月		